



総務部

## 2023 年度関西女子学生バスケットボールリーグ戦 総務部報告事項

### 1. 全体について

- ・チームには数回加盟登録について案内していたが、関西女子学連に未加盟の選手・スタッフがエントリー用紙に記入されていた。
  - 未加入チームに連絡を取り、加盟手続きを行った。
  - チームには関西女子学連への加盟が完了していないとエントリー用紙に記入できないことを周知する。
- ・エントリー期間中の総務部と競技部で行いました、エントリーと加盟のチェックにて、見落としがあった。
  - エントリー期間中のチェックを総務部と競技部の担当部署に限らず、可能な限り学連で協力し確認作業には十分な時間を取り、確実な確認作業に努める。
- ・部署内での作業分担している内容について、情報共有不足があったため、作業に遅れが出た。
  - 役割分担をしている中でも、情報共有をして作業を確認しながら進める。
- ・会場に合わせて、発送リストを各部と協力して作成する。
  - 荷物の最終認、手持ちの荷物を明確に表示し、抜けのないようにする。
- ・試合中の ID 着用
  - 指導者、スタッフ等の ID 未着用が多くみられた。
  - 本部でチームへの周知。フロア入口からの呼びかけを行う。
- ・観客席での立ち見が多くみられた。
  - 観客対応がその都度、注意を行い対応した。
- ・わかりやすい表記で張り紙が不足なく準備出来ていた。
- ・招待状を事務所で印刷し、経費削減に努めた。  
(チケット印刷については、経費の試算と作業効率化を検討した結果、外注とした)
- ・ハーフタイムショーでは、様々な団体に声をかけたが都合が合わず、全関西と同じく堺チアリーディングクラブにご出演していただいた。

2. 表彰式について・表彰物の配送時には、検品に異常はなかったが、表彰当日に不具合がでたので、当日にも欠陥がないか、最終確認を行う。

- ・今年度のリーグより、表彰式にて表彰状の読み上げを短縮し、チーム・選手へ授与するという形をとった。
- ・ミズノ株式会社より今年度のリーグ戦は、1 部に限らず、各部の個人賞にも副賞を提供していただいたので、2 部以下の個人賞受賞者にも大変喜ばれた。
- ・式次第と賞状の最終確認
  - 3 部の表彰式で、式次第と賞状の人物・個人賞受賞者の氏名が誤っていた。
  - 再度、氏名・読み方が一致しているのかを確認する。
- ・役割分担、チームを整列させる際の三文字表記の使用からスムーズに表彰式の準備が行えた。
- ・トロフィーの発注が遅くなった。
  - 期間に余裕を持って発注作業を行う。
- ・シナリオデータの引き継ぎ  
今年度のシナリオのデータを改善して更新引き継ぎ、来年度の表彰式に活かす。

## 2023 年度関西女子学生バスケットボールリーグ戦 広報渉外部報告事項

### 【反省点】

#### ○パンフレット

- ・表紙にて大会名の誤載があった  
→校正の際に間違いがないか確認を徹底する

#### ○バスケプラス

- ・バスケプラスの返却日を 1 部・2 部で異なる日付を設定しており変更して頂いた  
→1 部・2 部で閉幕日が異なるが返却日は同日に設定する
- ・1 部 スタッツ記録に対してチームから問い合わせがあった
- ・2 部 スタッツの最終得点が間違っていたなどのミスが多数あり試合後に修正することがあった  
→来年度以降学連員がスタッツを付けるように検討する  
→スタッツ講習会を再度行い規定について正しく認識してもらう

#### ○その他

- ・星取表、試合結果のミスが後日判明することが何度かあった  
→公開する前に再度確認しダブルチェックを徹底する。
- ・カメラの受け渡しを行わずフロアに置き、レンズが割れる原因になってしまった  
→カメラは床に置かず必ず受け渡し管理する
- ・個人賞 BEST10 の名前に誤りがあった。また指摘されていたが共有できていなかった  
→誤りがないかパンフレットと見合わせて確認するようにする
- ・前日告知を当日に公開することがあった。  
→前日までに余裕をもって公開準備をしておく
- ・SNS 速報がすぐに載せられていなかった  
→試合が終わり次第、第一優先で速報をアップする。

### 【よかった点】

- ・2 部でもスタッツをつけたことで個人賞を増やすことができた
- ・1 部だけでなく 2. 3. 4 部全てで企画を実施できた
- ・会場掲示に力を入れることができた
- ・有料日のフライヤーとポスターを作成した
- ・個人賞の BEST10 を上位リーグだけではなく 5 位～8 位リーグでも集計し、会場にも 1 日ごとに掲示した。また後日 SNS にて最終結果も公開した。  
また 2 部でも同様に会場、SNS に公開することができた
- ・Twitter の速報にスタッツのデータを添付することで試合情報をより詳しく知っていただけたことができた

## 2023 年度関西女子学生バスケットボールリーグ戦 競技部報告事項

- ・会場設営がどこまで出来ているか事前確認が出来ておらず、当日セッティングに時間がかかってしまうことがあった。

→体育館の使用が確定した後にチームに送る、体育館打ち合わせ用紙に設営がどこまでできるかを記入して貰うとともに、試合前日にセッティングの状況を連絡して貰う。

- ・学連員がコートの最終確認を行ったにも関わらず、ラインの引き忘れや、24 秒の位置が逆など、確認漏れが発生した。

→設営完了後に、2 人以上でコートの確認を行う。

- ・車両申請について、申請をしていない車両が敷地内に入構していた。また観客の車両が大学の敷地内に駐車されていた。

→車両申請はチームスタッフのみ申請可能だとチームに再度周知する。

→秋季からは HP や SNS を活用する。

→また、申請されていない車両が入構してしまった場合の対応について、会場校と情報を共有し対応を考える必要がある。

- ・TO について、審判から注意を受けることが多々あった

(携帯の使用、試合中の TO メンバー交代 など)

→審判部と連携を取り、TO 講習会を行うことを検討中

→試合中の TO メンバー交代について、原則、テーブルオフィシャルのメンバー(5 名)は試合を通して交代しない。モッパはタイマーが停止している時(タイムアウト、クォーター間)のみ可能

- ・コンディショニングスタッフについて、申請漏れ、ゼッケンの確認不足が生じた。

→コンディショニングスタッフ申請の際に、ゼッケンを持参していただき、2 枚のゼッケンが、同じものであるか確認する。

- ・ユニホームの色が統一されていないチームがあった

(ユニホームの発注会社が変わったため)

→ユニホームの色の統一を優先したため、片方の色のユニホームで出場してもらった



令和5年 11 月 20 日  
理事会資料  
競技部

→対応に時間を費やしたため、今後競技注意事項に反しているチームにしての対応マニュアルを作成しようと考えている。

・今年度は特に 1 部のリーグ戦では Home & Away として各大学に可能なら 1 回はホームゲームを引き受けてもらえるように計画し実施した。また、各大学の使用可能日程の条件や日にちの取り違いなどから、会場変更が起こってしまった。

→体育館の使用状況を各大学にヒヤリングし、使用する大学を確定させる。

・星取り表記入後、当日会場で競技責任者にあたっている理事の方から確認を得たことで、スムーズに確認が行えた。

→今後も理事の方々との連携をとりつつ、スムーズに星取り表やトーナメントの更新を行えるよう、継続して行いたい。

・皇后杯、国体の配慮を 1 部のみしていた

→2 部で皇后杯出場チーム、国体出場選手がでたため今後は 2 部も配慮するようにする。

・1 部の試合ではデジタイマーを対面で置くことを必須する

→今後この対応をこの対応を行っていくうえで、タイマー同士を繋ぐコードの購入を検討する。

・試合時刻は基本的に定刻開始を意識する。

→今年度、入替戦が延長戦となり、同会場であった 1 部の試合が様々な要件により定刻開始できなかったため、今後は、試合間においては、通常の試合間より多くあけるように配慮する。



## 2023 年度関西女子学生バスケットボールリーグ戦 財務部報告事項

### ○収入

#### 【チーム参加費】

#### 参加費

1 部 参加料 @150,000 広告負担金 @40,000 合計 @190,000

2 部 参加料 @100,000 広告負担金 @30,000 合計 @130,000

3,4 部 参加料 @70,000 広告負担金 @20,000 合計 @90,000

#### ●1 部

参加費@150,000×チーム数 10 チーム

参加費合計 1,500,000 円

広告負担金@40,000×チーム数(関外大を除く) 9 チーム

広告負担金合計 360,000 円

1 部合計 1,860,000 円

#### ●2 部

参加費@100,000×チーム数 12 チーム

参加費合計 1,200,000 円

広告負担金@30,000×チーム数 12 チーム

広告負担金合計 360,000 円

2 部合計 1,560,000 円

#### ●3 部

参加費@70,000×チーム数 11 チーム

参加費合計 770,000 円

広告負担金@20,000×チーム数 11 チーム

広告負担金合計 220,000 円

3 部合計 990,000 円

#### ●4 部

参加費@70,000×チーム数 11 チーム

参加費合計 770,000 円

広告負担金@20,000×チーム数 11 チーム

広告負担金合計 220,000 円

4 部合計 990,000 円

全体合計 5,400,000 円



#### 【パンフレット】

チーム一括売上：一括購入金額@1,000×冊数 579 冊

合計 579,000 円

一般パンフレット売上：一般パンフレット販売金額@1,500×冊数 153 冊

合計 229,500 円

WEB 一般売上：WEB 販売金額@1,700×冊数 39 冊

合計 66,300 円

パンフレット売上計 777,500 円

#### 【チケット】

一般 @1,500×207 合計 310,500 円

中高校生 @500 ×3 合計 17,500 円

中高生(団体割)@400×64 合計 25,600 円

合計 353,600 円

#### 【全体収入】

合計 6,531,100 円

#### ○反省

##### 【チケット】

- ・全関西の観客数と会場、試合数を考慮し発注したが、インカレ出場や順位決定などにより混戦だったため、予想を上回る観客動員であった。そのため、チケットの発注数を観客数が上回り、急遽印刷することになった。

→前年、全関西、リーグ戦の結果を考慮し的確な発注数を今後も検討していく。

- ・ Pay Pay などのキャッシュレス決済を検討する
- ・ 電子チケット化を検討する。

##### 【パンフレット】

- ・ 発注数に比較して販売数が少なかった

チーム販売は全チーム 10 冊以上の購入を協力いただいた

一般販売は有観客であったため昨年度よりも実績は上がっている

Web 販売は全関西よりも減少していた

→広報渉外部との内容の充実を図りながら価格設定を検討していく

## 2023 年度関西女子学生バスケットボールリーグ戦 審判部報告事項

### 1. 全体

#### ・審判員への連絡不足

タイムスケジュール変更の連絡不足で審判が来ない。

→学連員同士で連携をとり、誰が連絡したか、確認がとれているのか共有する。

#### ・割当確認について

割当確認が抜けていて、審判が来ない。

→役割分担し、返信確認を徹底する。

#### ・帯同審判について

帯同審判チームの主務が帯同の方に連絡しておらず、当日会場に来ない。

→当日チーム自体は棄権していたため、帯同審判の割当を調整するか、チームに確認をとる。

3 部に帯同審判を導入すると伝えておらず、監督から不服の発言をされた。

→帯同審判の割当を調整する

→3、4 部所属チームにおいて帯同審判の割当をする際、当日試合もある場合は割当の時間も考慮する。

#### ・審判用飲料水について

立命館大学に審判用飲料水を発送した際、学生が差し入れだと思い、2 本飲んでしまっていた。

→基本的には事務所にまとめて購入しておき、他部署の荷物と同じように必要な本数を発送する。会場に送る際は、宛名・中身を確認し、大学側にも連絡をする。